

(2) 理科を除く教科設備の充実状況

区 分	規模別学校数	I (34校)		II (7校)		計	
		金額	充実率	金額	充 実 率	金額	充実率
基 準 総 額 (A)		177,943	—	42,782	—	220,725	—
40年度未充実金額(B)		35,136	19.7	9,755	22.8	44,891	20.3
41年度補	国庫補助金	1,678	—	150	—	1,828	—
助対象整備	設置者負担額	3,356	—	300	—	3,656	—
金額(C)	計	(17) 5,034	2.9	(1) 450	1.1	(18) 5,484	2.5
41年度未充実金額(A)/(B)+(C)		40,170	22.6	10,205	23.9	50,375	22.8

7 商業高等学校の体質改善

事務機械、事務機構の近代化された企業の要求する産業人の育成をはかるには、施設・設備の充実は必須の要件である。これとともに担当教員の資質の向上もまた必要欠くべからざるものである。この見地から昭和39年度から県単独事業として3ヶ年計画により、これらの施策を推進しようとするものであり第3年次分として次のとおり実施した。

(1) 設備の充実

近代的な設備を導入することも必要であるが、基礎的品

目の絶対数が不足している現状にかんがみ、次の基礎品目を整備した。

かなタイプライタ	20台	} 9,660,000円
卓上簿記会計機	5台	
電動計算機	7台	
電動加算機	15台	

(2) 商業科教員の研修

東京都中小企業会館 9人 9日間